平成26年度浦添市中学生平和交流事業

戦争のない 平和な世界を願って

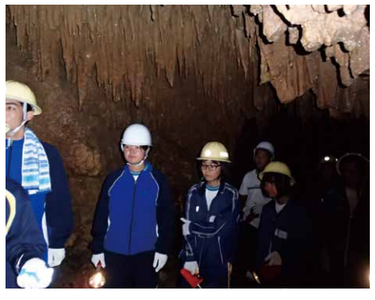
本市では昭和61年に「平和都市宣言」、平成8年に「核兵器廃絶宣言」を制定しており、この精神をさらに高めるために、平成8年度から中学生平和交流団を長崎市へ派遣しています。

この事業では、県内外での平和学習を通して、未来を担う中学生が戦争の悲惨さ、平和の尊さを学び、次世代へと伝えていくことを目的としています。今回で19回目となる今年度は、昨年度に引き続き長崎市を訪問し、全国から参加した小中学生と交流を深めながら意見交換をしました。

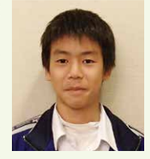
問い合わせ
国際交流課　☎876-1234（内線2611）

◆事前研修【浦添・沖縄戦を知る】

事前研修では沖縄戦についてのビデオ学習や各戦跡巡りを行いました。また、轟の壕（トゥドゥルチガマ）では、実際に壕の中に入り、懐中電灯を消灯して暗闇を体験しました。避難民達がどのような気持ちでガマ（壕）に身を潜めていたのかを想像しながら沖縄戦の恐ろしさを体感しました。



交流団員の感想



原爆について深く知ることができた。被爆者の話や実際の写真など、原爆はとても悲しく辛いことだと分かった。他県の人達との意見交換などで学びある4日だった。このことを忘れずもっと平和を広げていきたい。

仲西中 我那覇隆則（副班長）

沖縄戦や長崎の原爆の悲惨さを改めて学び、平和の大切さを実感した。戦争や原爆体験者の話を聞き、自分自身も平和について考える良い機会になった。みんながつくりあげてきた平和は、一人ひとりが手を取り合って守っていかなければならないと思った。

浦添中 伊波大空

今回見聞きしたことや感じたことから、自分の視野が広がり、平和に対する考えが深まった。平和を発信するために、自分の意見をはっきりさせ伝えていくことが必要だと思う。

仲西中 宮城歩未

戦争は、絶対に起こしてはならないことだと改めて実感した。戦争についての、話を聞いたり、資料を見たこと、今回学んだことを次世代へ伝えていき、平和な世界を目指していきたい。

浦添中 石新笑生

◆本研修 青少年ピースフォーラム

8月8日、9日には、全国から集まった小中学生や高校生らと被爆の実相を学び「平和の尊さ」について考えました。フォーラムではグループに分かれて積極的な意見交換が行われ、「平和な世界をつくっていくために～届けよう！平和の想いを私から～」をテーマに平和宣言文を作成しました。

ピースフォーラム交流会

交流会では、全国の皆さんの前でエイサーを披露しました。会場中にパーランクーが響き渡りみんなで盛り上がりました。

平和祈念式典

被爆69周年となった今回の式典では、国内外から多くの方が参列し、核兵器廃絶、恒久平和を願うとともに、原爆の犠牲となられた方々のご冥福を祈りました。また、原爆落下中心地と平和祈念像前で平和集会を開き、自分達で作成した平和のメッセージを朗読しました。

恵みの丘長崎原爆ホーム【被爆体験講話・交流会】

永瀬カズ子さんから被爆体験を聴きました。7歳の時、原爆で家族を亡くした悲しい体験や、焼け野原となった原爆投下時の悲惨な様子など戦争の恐ろしさを語って頂きました。施設入所者との交流会では、交流団が披露したエイサーにアンコールの声もあがりました。

▲永瀬カズ子さん

◆事後研修

浦添・沖縄戦を学んだ事前研修や長崎での本研修を振り返り、学習の成果を市長に報告するとともに、一人ひとりにピースメッセンジャーとして認定証が交付されました。

◆宮崎県日向市との交流会

太平洋戦争中に浦添国民学校（現在の浦添小学校）の疎開先であった日向市から中学生平和交流団が来市し、8月20日に交流会を開催しました。交流会では、疎開体験者を交えてのグループワークを行い、当時の疎開生活の話を聞き、疎開について学びました。

原爆の恐ろしさ、平和の大切さを学び、戦争は二度と繰り返してはいけないと思った。僕たちは次世代にも、過去にあった記憶を伝えなければならない義務がある。少しでもこの世界から戦争がなくなるように、まず身近なところから平和と戦争について伝えていきたい。

浦西中 畦町泰士

戦争の悲惨さを学ぶことができ、沖縄の地上戦だけではなく、長崎、広島の原子爆弾のことも次の世代に伝えていきたいと思った。戦争体験者にも多くの人に自分の体験を語りついでほしいと思う。

港川中 新田光利

戦争がどれだけ悲惨なものかを知った。沖縄だけでなく長崎のこともたくさん学んだ。原爆のことをたくさん教えてもらい悲しいことだと感じた。これから戦争を絶対にやらないようにしていきたい。

神森中 喜屋武歩馬

辛く悲しい記憶を思い出して話をしてくれた被爆者の方達の思いを無駄にはせず、沖縄で学んだこと、長崎で学んだことを、もう二度と戦争を繰り返さないように周りの人達にも伝えていきたい。

浦西中 我部愛海

平和交流団に参加して学んだことは、原爆の恐ろしさと残酷さである。

研修で学んだことを多くの人に広めて少しでも核兵器廃絶と世界に貢献していきたい。

港川中 渡慶次結（班長）

長崎では、原爆のことについて学んだ。被爆者の話を聞いたときは、とても心が痛くなった。このようなことを風化させないよう、私たちが次世代へと繋げていこうと思う。

神森中 仲間夢乃